

高野 新聞

Vol.95



たかの
高野 たけし
無所属 46歳

逗子市議会議員（5期）

- ・市議会議員
- ・逗子市観光協会 理事
- ・全国市議会議長会 社会文教委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

災害時に慌てないための準備情報

東日本大震災以降、本市においても災害対策を強化してきました。ハザードマップの改定、津波避難場所の確保・避難経路の整備、備蓄品の拡充など多岐にわたります。また、各地域で行われる防災・避難訓練にも多くの地域住民が参加するようになってきたと感じていますし、より実践的な内容になってきていると思います。私でもできるだけ多くの訓練に参加し、地域の実状に即したお話を皆様からお聞きするようにしていますが、ここ最近では地震・津波対策だけでなく、台風・大雨対策に関するご意見も多くいただくようになりました。中でも、避難場所に関してわかりづらいといった意見をよく耳にします。

現在、風水害避難場所は43ヶ所指定されていますが、大型の台風等で災害が予想される時や、避難準備・高齢者等避難開始時には、**各小学校区1ヶ所の自主避難所**（小坪・沼間コミュニティセンター、池子・久木会館、市民交流センター）のみの開設となっており、全てが開設されるわけではありません。その後、土砂災害、河川の氾濫が発生するような状況、避難勧告・避難指示が出された際は、**被害地域から避難しやすい場所が順次開設**される流れとなっています。各ご家庭に『土砂災害等ハザードマップ』が配布されていますが、こうした情報は掲載されていないことから、担当所管に対し事前情報提供のチャンネル拡充を提言したところ、担当課長から必要情報の提供に努めていくとともに、**各地域の詳細なハザードマップの作成**を地域住民と検討していくなど、災害時に市民が困惑しないよう準備していきたいとの回答がありました。

災害はいつ起こるかわからないことを考えれば、自助・共助・公助すべてにおける事前準備が最も重要であることは言うまでもありません。

政治資金の残り

21,206円

（10月・11月の内訳）

支出…ポスター掲示用両面テープ 2,496円

『防災食育センター』の調査・研究を提案

東京都福生市では、老朽化した小学校給食センターの建て替えと中学校の完全給食を望む声を受け、**国有地の無償貸与、特定防衛施設周辺整備調整交付金**（建設等にかかる費用約40億円の3/4補助）を活用し、小中学校（小学校7校、中学校3校）全てをフォローできる給食センターと災害時の食料提供を合わせた『防災食育センター』の整備を行いました。

この施設は最新の衛生管理手法で安心・安全な給食提供を行うことはもちろん、**災害時にも調理可能な設備**を有しています。備蓄しているプロパンガスを都市ガスに変換できるPAジェネレーター、ガスを電気に変換するマイクロジェネレーション、100t



の給水設備などが備えられています。さらに、**避難者310人を受け入れるための資機材**に加え、市内の避難生活者**15,000人に対し3日分の食事**を提供できる食材も備蓄しているとのこと。そして、給食センターと災害時食料提供機能を一ヶ所で担うことにより、備蓄食材の**食品ロスを起こさないローリングストック方式**（備蓄している米、汁物の乾燥具材を給食と供用することで、常に新しい食材が保管可能）が採用されています。

本市においても自校式で調理を行っている小学校5校のうち4校で調理室の老朽化対策が課題となっていますし、ボックスランチ方式を採用している中学校給食の向上を望む声も届いています。そして何より、災害時に食材を調理できる施設を有していないことを考えると、本市と同規模の福生市の取り組みは非常に参考になることから、行政当局に対し調査・研究を進めるよう提案したところです。

Topics

◆JR東逗子駅前用地活用事業に進展

公共と民間の複合型施設をテーマに、サウンディング型市場調査が行われました。参加した8事業者からは、商業施設や地域包括ケア拠点(子育てや介護、学習支援等)としての活用案も出されたとのこと。

この土地を巡っては過去に2度整備計画が頓挫した経緯がありますが、今回は民間活力も活かして、整備費の圧縮、地域の活性化・利便性向上につなげていただきたいと思います。

【サウンディング型市場調査】

公有地活用や民間サービス導入などの検討の早い段階(公募前の事業発案時や事業化検討時)において、自治体など公共団体が民間事業者から広く意見や提案を求め、対話を通して市場性の有無や活用アイデアを把握しようというもの。



◆図書館の開館時間が変更

今年度は財政対策プログラムの一環で、試行的に図書館の開館時間は全日18時(火曜日休館)までとなっていましたが、来年度は利用人数の多い水・木曜日を19時まで、日中の利用が多い土・日曜日は17時までにするとの方針が示されました。市民ニーズを捉えて柔軟に対応したことは評価しますが、利用率の高い施設であることを考えれば十分な措置とは言えないため、特に夜間利用の多かった平日の開館時間再延長を担当所管に要望したところです。



◆ブロック塀の撤去に対する補助制度を検討中

大阪北部地震で小学校のブロック塀が倒壊し児童が犠牲となってしまった事故を受け、市内の各小学校から半径250メートルの道路沿いにあるブロック塀を調査。その内、1.2mを超えるブロック塀336件中52件で危険性が高いとの結果に。現在、通学路の安全を確保する観点から道路に面するブロック塀(市内全域)の撤去に対する補助制度の導入が検討されています。

どーなっているの？

市民の皆様から頂いたご意見・ご要望にお答えするコーナーです。

JR逗子駅の東側に位置する金沢新道踏切(駅側の歩道)を逗子側から山の根側に渡った場所は左折車との距離が近いため、歩行者の安全対策を講じてほしい。

ご要望を受け、JR逗子駅の西側にある池田踏切にも設置されている安全ポールを整備する等、安全対策の実施を道路管理者である神奈川県に提言したところ、左折車との接触が危険視されていた箇所安全ポールが設置されました。

特に踏切が一定時間閉まっていた後などは歩行者や自転車の通行も多く接触の危険性が高い場所であったため、安全性は向上したと思います。しかしながら、渡った後の歩行者スペースが狭いなど、まだまだ安全対策が十分であるとは言い難い状況であることから、以前から市・県に要望している歩道の拡幅については改善に向け引き続き取り組んでいきたいと考えています。



あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368

E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp